



1 AI使って日本語あいさつ



挨拶するアンドリュー・ホーさん

1月28日(火)、香港浸會大学の学生41人および教員8人が本校を訪れました。開講式では、本校の酒井雄一学校長の歓迎の英語挨拶に続き、アンドリュー・ホー(香港浸會大学)代表が、英語とAIを使って日本語で挨拶していました。交流会では、①双方の地域文化や学校紹介、②eスポーツ③「カンパセーション」が行われ、学生同士が交流を深めていました。

2 IT機器を活用し交流深める



IT機器を活用し交流する学生達

香港浸會大学との「カンパセーション」(交流)では、IT機器や身振り手振りで、若者らしく楽しく交流を深めていました。参加した2年生の吉田海冬さん(茨城東高卒)は、「香港の学生との交流を通して、文化や価値観の違いを学ぶことができました」と自信を深めていました。また、1年の菱沼大清(多賀高卒)さんは「話す言葉が違って、気持ち伝わればコミュニケーションが楽しめる」と笑顔で振り返っていました。

3 深まる交流

学生同士の「カンパセーション」で、お互いの交流が深まりました。そんな雰囲気写真でお伝えします。



アンドリュー・ホーさんと学生達



「豆つまみ」ゲームに興じる学生



「eスポーツ」で盛り上がる会場

会を盛り上げる進行スタッフ 左から
ディアナさん、マッシューさん、シハブさん



ITから
創造した未来へ